

私のイチオシ機能・部屋を理由付きで整理しましょう！

グループ①

**ジョギングコース、遊歩道
(ロッカールーム・シャワールーム)**
ジョギングコースだけでなく、遊歩道としても利用できるようにしてほしい。
地域の人が早朝から利用できる場所があれば良いと思う。実際、朝早くから歩いている人がたくさんいて、私自身、車で出かけるときに車が危ないと思った。
コースを作って、歩きやすく道を広めにとってジョギング、犬の散歩、ウォーキング

地域史展示
地域について学ぶことは地域愛育成、南あわじ市の更なる発展につながる。南あわじ市には市民が入るハードルが低い民俗学に関する博物館がなく、地域史展示の場は必要だと考えた。創る段階から市民で地域史を調べ、掘り起こす段階でも地域愛が育成されていくのではないだろうか。そして多世代交流がはかれる。
利用シーン：しずおり展示、民俗学に関する展示、しずおり体験等

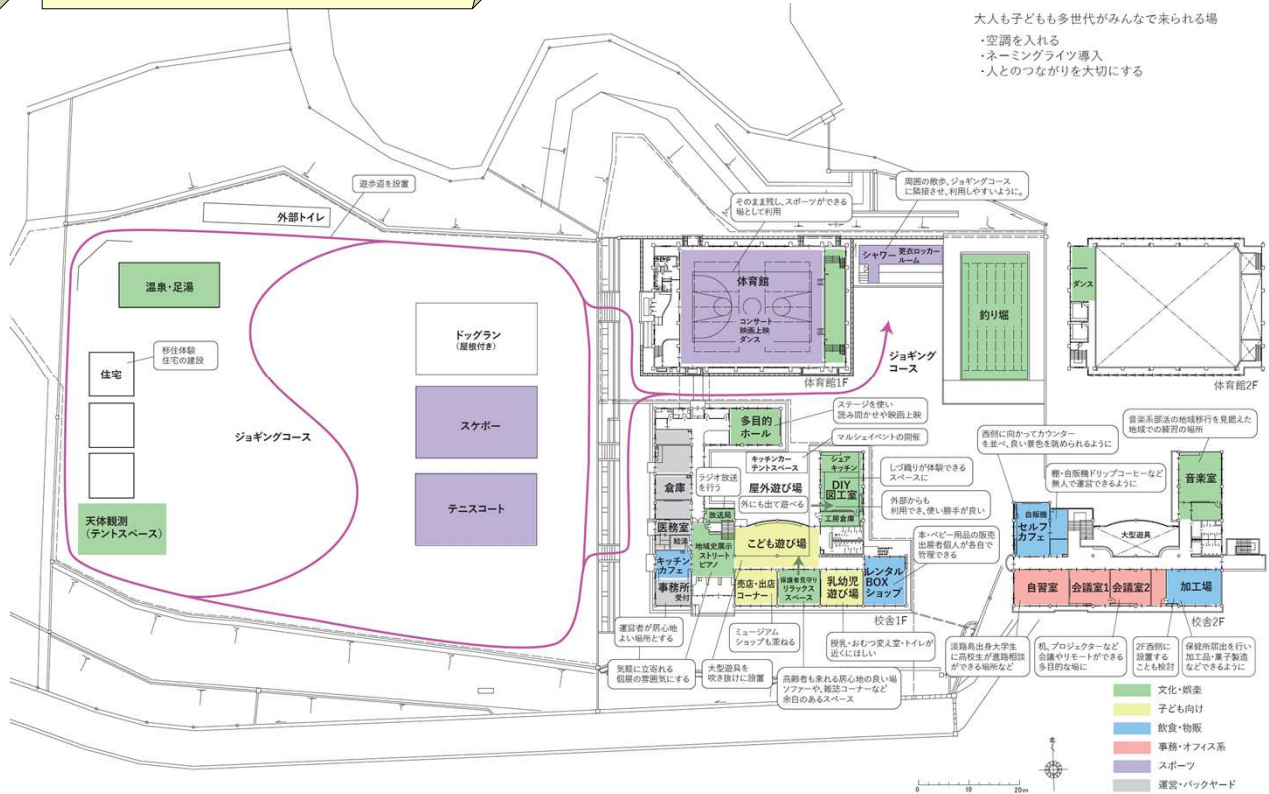
音楽室で演奏会(ライブ)や練習
ミニライブ、朗読会、よみかきせ会、演奏のための練習場所(スタジオ)が少ないのでぜひほしいと思う。
※淡路市の佐野小学校跡の音楽室のような感じ(さの小テラス)

2階西側のセルフカフェ、運動場に向かって座れるカウンター
・子供関係者に限らず、誰でも立ち寄って、ちょっと休憩したり、おしゃべりができる(誰でもだが安全上条件は必要)。
・西側に開けた景観がある。
・自販機の種類により付加価値を付けることができる。また基本無人での運営ができる。
・運動場の利用方法によっては、さらに価値が高まる場所になる。

シェアキッチン、加工場
・地域内外の人 活用
・あとから増やしていく
・6次化
→この場所で販売する

体育館
体育館を体育館として使いたい。子供の遊び場ということで、子供が使うところ。子供たち自身で自転車やバスで来て、体を動かして遊んでほしい。

DIY図工室
DIYしたものをこの施設で使う、展示する、とか。



■施設の目的とスタンス

- 大人も子どもも多世代がみんなで来られる場
- 空調を入れる
- ネーミングライツ導入
- 人とのつながりを大切にする

売店、出店コーナー
地域史展示に関するグッズ、淡路に関するグッズもほしい。グッズをつくるときに子供たちもデザインに関わることで購入促進も図ることができそう。

映えるオブジェ
子供や若者がSNSで発信するために大きなオブジェがあると良いと思う。おじいちゃん、おばあちゃんも孫を撮影できる。オブジェや顔出しパネルも。

元美術室の窓扱いロングテーブル
・淡路の空と海を眺めつつ、仕事でもできれば勉強もできる、本を読んだり、何か作ったり、自由。賑やかさはゆるく聞こえてくる程度。居心地のいい「静」のスペース。どこにでもあるようなでないここにしかないスペース。

1階吹き抜けを活用した大型遊具などで遊べる(動き回れる)子供遊び場
・オーソドックスではあるが、大部分の子供は興味を持って飛び込んでもらえそうな気がするため。走り回れる、跳べる、登れる！
・自宅や近隣施設の遊具では経験できない規模(大きさ、数、種類等)の遊具がある場で、天候や気温に関係なく体を動かして遊ぶことができる。
・子供たちが遊具に群れると同年代、年上、年下の子と触れ合うことができる場となる。
・保護者(引率者)は憩える場?から見守りができる。
・エントランスから入ってすぐ目につくことにより、施設全体の“わくわく感”が出る。

Boxショップ、リサイクル
・子供用品の交換スペース
→サイズアウトした服、チャイルドシート、おもちゃなど。
・小さなアナログ版メルカリ
・幼児の遊び場とセットで。必ず親が見る

1階のフリースペース内に交換小箱・販売小箱「小箱商店」
30cmの立方体程度の箱を積み重ね、希望するひとりひとりに時を区切って貸し出して、服や本や器や野菜や作品や・・・ナニかを、自由に並べる。交換なのかも販売なのかも自由。子どももやってみたらいいし、私たち大人も楽しんだらいい。